

経営比較分析表（令和5年度決算）

香川県三豊総合病院企業団 三豊総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	29	対象	ド透1 訓 方	救 臨 が 感 へ 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	44,942	-	第2種該当	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

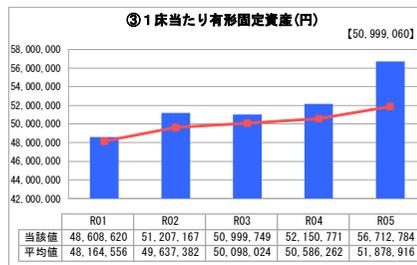
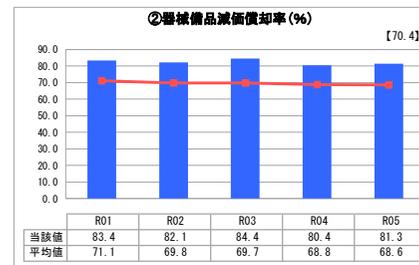
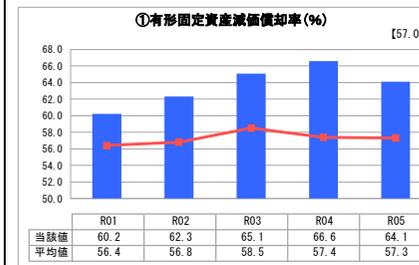
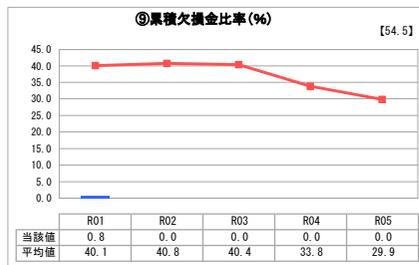
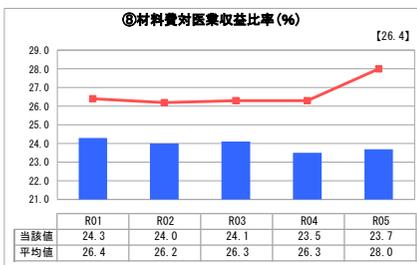
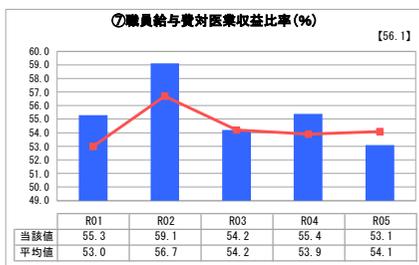
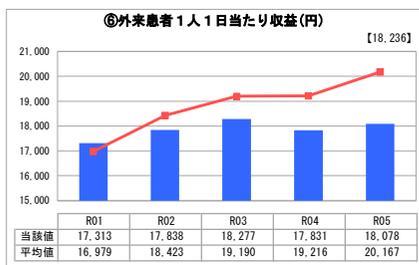
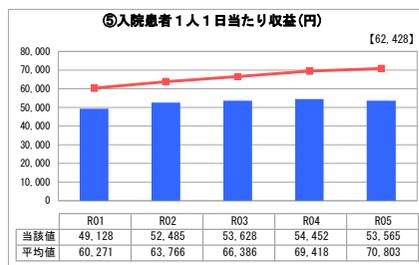
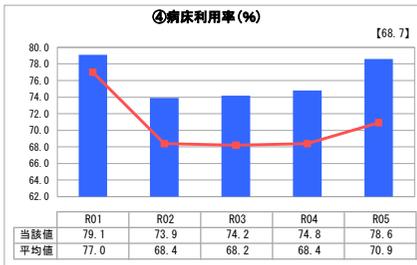
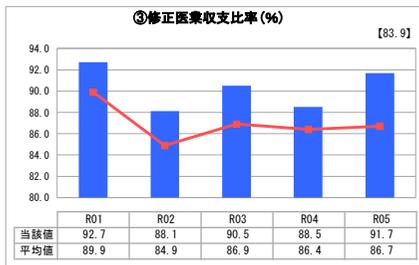
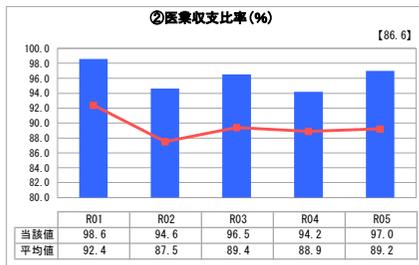
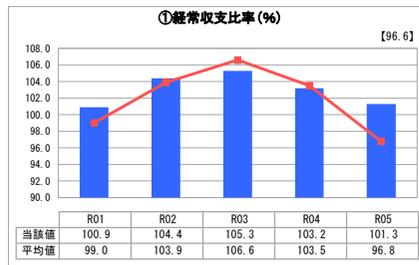
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
458	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	462
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
429	-	429

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の業務・ネットワークを基盤)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は香川県の西部保健医療圏である観音寺市、三豊市における中核病院であり、四国中央や徳島県西部においても重要な位置づけとなっている。これらの地域の住民へ安心安全な医療を提供することを使命としており、救急医療や高度先進医療の提供、がん診療、地域医療支援病院としての地域医療連携の推進などの役割を持つ。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率は新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から大きく数値を下げていたが、令和5年度はコロナ禍以前の水準近くまで回復した。また単価についても確実に上昇している。そのため、令和5年度は新型コロナウイルス感染症にかかる補助金が大幅に減少したが経常収支比率は100%以上を維持することができた。しかし、依然として他の類似病院と比較すると単価は低いため、これからの余地はある。そのためには職員の確保や全身麻酔症例の増加、高度医療機器の増加に引き続き取り組んでいく。

2. 老朽化の状況について

大規模な建設工事が完了したため固定資産の減価償却率は下がり、1床あたりの有形固定資産額も大きく増加した。新機には高度放射線治療システムや内視鏡システムが導入された。令和5年度には電子カルテの更新、放射線情報システムや人工心臓装置のような高価な医療機器を導入しているため器械備品の減価償却率は近年減少傾向ではある。

全体総括

現時点では健全経営を維持できているため、経営形態の見直し等を検討する必要はない。今後も現在の経営状況を維持するために請求漏れの削減や無駄のない購入、スタッフの教育を行い、医師や看護師の確保、先進医療機器の導入を進めていく必要がある。また、人口減少が続く中、患者に選ばれる病院を目指すためスタッフ全体の意識改革が必要である。

※1 類似病院平均値(平均値)については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。